浴衣ワークショップの注意事項

1. TA：学校の場所、アクセスを確認、集合場所を事前に周知
2. クラスの状態を把握⇒準備品リスト表を作る

男女の人数（予備も考える）　必要サイズ

場所（ござが必要かどうか、鏡があるかどうか、エアコンがあるかどうか、マイクが必要かどうか、PPT が使えるかどうか等）　授業時間（余興の時間があるかどうか、あれば何をするか？例：小ファッションショー、お辞儀ワーク、模様ワーク等）

★サイズが足りない時の対応策：大きいサイズを小さいサイズに代用（例Ｓ不足な場合、M を代用する）

薩本研究室の男女浴衣及び小物等の在庫数（表１）

	サイズ	身丈	適応身長	在庫数	必要数	準備数	不足	予備	準備合計	不足補充
女浴衣	SSS	135cm	135(135-144)	3						
	SS	145cm	145(145-150)	5						
	S	150cm	150(150-155)	19						
	M	158cm	158(156-163)	22						
	L	164cm	164(164-167)	7						
	2L	170cm	170(168-174)	3						
	4L	175cm	175(175-)	6						
	SSS	135cm	135（135-144）	2						
男浴衣	XS	120cm	150(145-154)	12						
	SS	126cm	155（155-159)	9						
	S	131cm	160(160-164)	6						
	MS	136cm	165(165-169)	15						
	M	141cm	170(70-172)	10						
	L	143 ㎝	173(173-177)	13						
	2L	146cm	178-180	15						
	5L	151cm	180-190	6						
女腰紐	並									
	長尺									
女伊達締め	並									
女半幅帯	並									
	長尺									
男紐	並									
	長尺			5						
男角帯	並									
	長尺			5						
女下駄	M		23－25cm	10						
	2L		26cm－	10						
男下駄	M		26cm-	10						
	2L		28cm	5						
	Big		30 ㎝	5						
他の物	例：プロジェクタ、PC,音楽プレーヤー、ビデオカメラ、カメラ、名札、髪ゴム等									

3. 浴衣の箱詰め作業　事前必要な数などを確認し、サイズ毎に分類してまとめて箱に入れる

　生徒の身長から浴衣のサイズを割り出して事前に各自のサイズを知らせておく。

生徒には体操服で参加するように指示。

浴衣は当日、サイズ毎に並べておく。生徒は自分のサイズの浴衣を受け取り、小物を合わせて受け取る。

★女子の小物（半幅帯、伊達締め、腰ひも）、男子の小物（角帯、男締め）はセットにして配る。

※早めに教室に行って、事前に浴衣、小物をセットしておくことが大事。

4.ＴＡの役割担当を決める

役割分担（表 2）

各役割　　日期			
主授業実践			
男子浴衣示範			
女子浴衣示範			
畳み方示範			
ビデオ撮影とタイムキーパ			
女子各班 TA(各班人数)			
男子各班 TA(各班人数)			

5.指導案を作る＆time table を作る

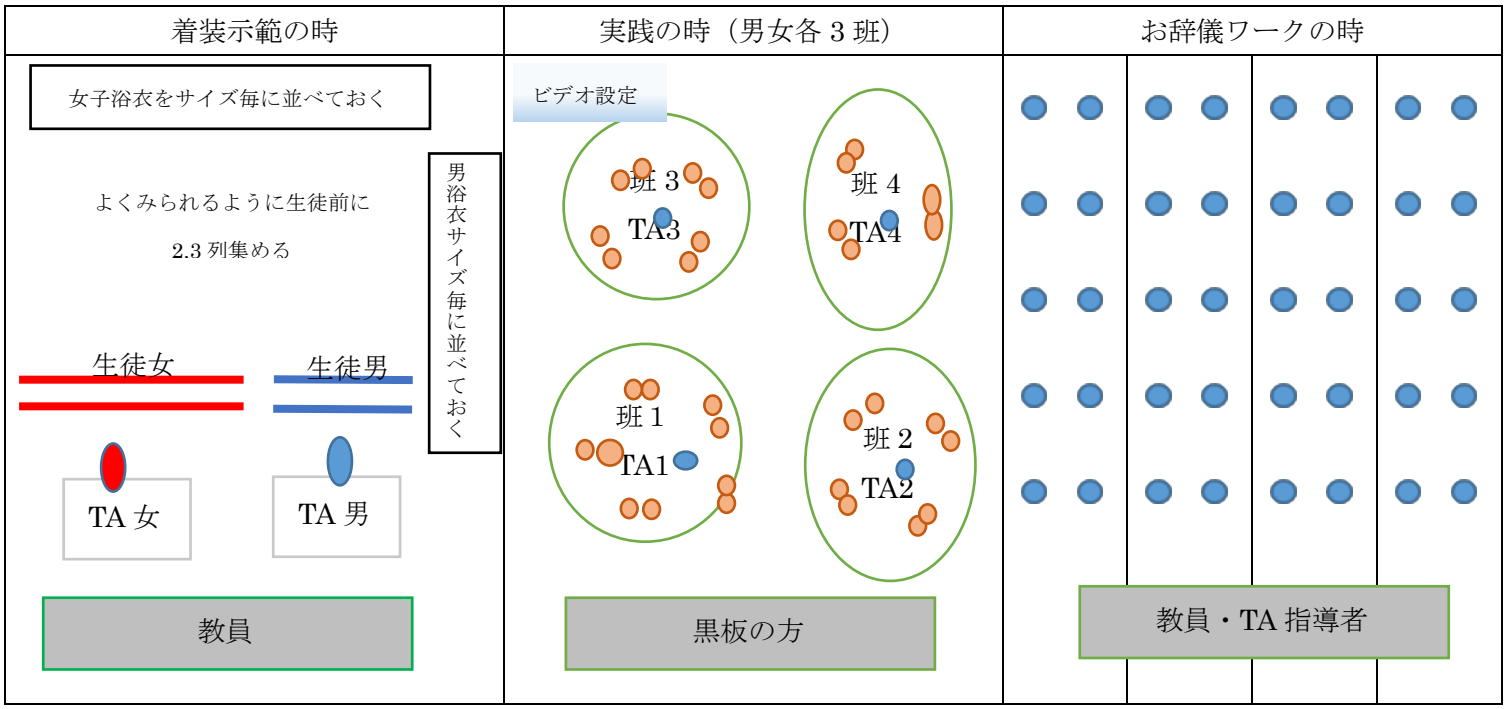
6.TA が少ない場合注意する点

①事前に生徒の中でマイスターを育成する

②難しいところを班の中に一人を中心にしてやってみせるとか、近くに集まってもらい、ゆっくり見せる

③生徒をペアにして衣紋、背中心のしわ、伊達締めを背中でかさばらないように折り返す時、お互いにチェックさせる。

7.　大体の構成図



８.その他

①男子が早く着終わると予想される。TA は帯結びを再トライさせる、お辞儀ワークをする、集合写真を撮るなどする。

②ワークショップを終わった後、もし浴衣が汗で湿ってしまったら、広げて風通しのいい場所で干しておく

③男子着装、女子の着装、畳み方を示範する TA の担当を決めておく。

④班分けの時間短縮のため、出席番号順、或いは事前に家庭科教諭に分けてもらう。

9.ワークショップを終えた後の作業

浴衣の片付け、洗濯、アイロンかけ、サイズ毎に元の場所に戻す。